

幼児の「家の畫」の研究

神戸市保育會

本稿は去る五月廿八日京都市に於て開催せられたる第四十四回關西聯合保育大會にてなされたる研究發表である。
許可を得てこゝに掲載させていただきます。(編輯部)

一、緒言

神戸市保育會の研究問題に致しまして、私達は幼児の「家の畫」について研究することにしました。其の最初の目的は此の研究に依つて幼児が各々の家庭に對してどんな觀念を持つて居るか、即ち各々の家庭生活と言ふものが幼児に對してどんな影響を持つてゐるかと言ふ事を幼児の畫を通じて調査したいといふ所にあつたのであります。ところがそれは調査の方法に依るためか、又は幼児の心理そのものに依るためか、其の最初の目的は充分に果し得なかつたと言ふ感じがありますが何れにしても私等は此の研究を通じて幼児の心の發達や幼児の興味の有する所を知り得る點で多くの得る所があつたと思存しますので茲にそれを大體纏めてみたのであります。

此の研究に参加した幼稚園は神戸市保育會に屬するもの

のうち二十六幼稚園であります。

住吉幼稚園	住吉遊嬉園	共學幼稚園	西郷幼稚園
西灘幼稚園	友愛幼稚園	菊華幼稚園	本山幼稚園
明照幼稚園	常盤幼稚園	神戸愛兒園	神戸幼稚園
清風幼稚園	楠幼稚園	報國幼稚園	兵庫幼稚園
會下山幼稚園	北部幼稚園	西野幼稚園	末正幼稚園
香盛幼稚園	慈光幼稚園	須磨幼稚園	龜ヶ池幼稚園
垂水幼稚園	播陽幼稚園		

二、方法

昭和十二年二月中に男兒一一六名、女兒一〇一名につき次の方法で調査致しました。

- 1、幼児に對する先生の言ひ方は「ミナサンノオウチナカイトゴランナサイ」(「ただけ言ふ事にし後は出来るだけ幼児の自由に委せました」)。

幼児の『家の畫』の研究、記録用紙

No.

(園名)

姓名	男女	調査日	年月日	時間	時頃
		誕生日	年月日	天氣	
		満年齢	年月日		
A 描畫態度に就いて	1 模倣否	2 喜熱心	3 普厭	3 畫語他語	獸
B 描畫内容に就いて	(以下は繪をよく見乍ら記入すること)				
1. 繪の大體の意味(畫題の大體の意味を説明し、場所、事件などの解つてゐるものはそれを加へて説明する)					
家	家の種類及びその數	自分の家の階建	の家の軒		
	合計	階建	軒	上記の家の中最も重要な(畫題の中心となつてゐる)家には◎印を附けよ	
	家の型に就いて右に略畫を示すこと(別圖を参考とせよ)				
	家の附屬物(庭を含む) 門、門柱、玄關、入口、扉、塀、格子、窓、破風、瓦、土藏、風呂場、便所、糞所、納屋、物干、梯子段、廊下、帳場、看板、煙突、煙、名札、水道、入口の道、庭、溝、石橋、石段、石垣、生垣、池(其他)				
	家具(庭を含む) 電燈、電燈の傘、コード、タンス、タンスの引手、火鉢、火箸、ストーブ、机、机の上に花、時計、カーテン、幕、電話、蓄音器、陳列棚、水屋、屏風、襖、寢床、植木鉢、プランコ、旗、旗竿、塵箱、犬小屋(其他)				
人物	人物の種類とその人數	人	人		
	人物の動作(その動作が畫題と重要な關係あるものは『主』の所に記し、餘り關係がなくお添物である時は『副』の所に記す(主)(幅))				合計人
	4 家に屬しない事物及び風景(池、水の如きもので家の庭に屬することが明らかなもの)は2の方へ入れ、戸外に屬するものについてのみ記入、その境界が不明なものは両方に入れて差支へなし山、岡、富士山、木、花(チューリップ、ヒマハリ..不明)電柱、電線、郵便函、鳥居、道路、池、水、河、畑、空、雲、雨、太陽、月、鳥(鳥、鳥..不明)飛行機、自動車、汽車、電車、船、魚(其他)				
5 事件(特に繪全體と關係深きものは1に説明して記入し、此處では大小種々な事件を列擧するのみにて可)3の人物の動作に記入されたものは省くも可戦争、トンド、火事、防空演習、病氣、オ客サン、寶惠籠ノ事、手紙入レオ便ヒ、號外、飛行機ノピラマキ等、食事、おやつを食べるところ(其他)					
備考					

2、描畫材料はハツ切畫用紙クレオンに一定しました。

3、時は午前中の状態のよい時に描かせました。整理の

方法も一定するため次の様な記録用紙を使用しました。

三、結果

此の調査の結果は右の記録用紙を基としましてその項目別に整理しました。

第一表 描畫態度について(%)

項目 性別	1		2			3			
	模倣	否	喜	熱心	普通	厭	畫語	他語	黙
男	5	95	24	41	51	4	22	10	67
女	1	99	22	30	50	2	15	7	75

年齢は四年六箇月未満から六年十箇月以上の間を男女別三箇月づつに區切りまして十一段にわけ凡て其の年齢群を基として統計的に發達の有様を求めました。一々の結果を統計的に上げます事は餘りに煩雜に過ぎますからこゝではその大體のみを申し上げます。

A、描畫態度について、此の結果は第一表の様であります。

即ち模倣者や畫を描くことを厭がる幼児は少く且つおしやべりをしないで描くのが普通であります。

B、描畫内容について

第二表 意識の擴がりと分化(%)

項目	自分の家のみ					自分の家と他の家					事件				
	家の形	家と内	家と外	家と内	家と外計	家の形	家と内	家と外	家と内	家と外計	自家が大	自他等し	寫生的		
幼	男	14	3	38	19	73	3	0	11	3	17	5	11	11	33
	女	3	20	23	13	60	0	3	7	17	27	20	7	0	37
長	男	4	4	25	15	49	1	1	22	20	45	17	13	17	46
	女	3	4	22	29	57	1	0	5	32	38	14	21	10	41

1、繪の大體の意味
これには色々分け方が考へられますが其の内幼児の畫の中に含まれた世界の廣さ其の内容の分化と言ふことを主にして考へます。第二表にみます様には先づ年少の方には自分の家のみを描くものが多く年長の方では自分の家のみを描く者も自分の

家と他の家を描くものが相半ばし、又家屋だけ、家その内部、家と其の外部及び家と其の内部及び外部と言ふ様にその心の擴がりを調べてみますのに年長に赴く程單なる家の形のみでなく其の内外に意識が擴がって行く

第三表 家の種類(%)

項目 性別	自分の家	友人の家	親類の家	他人の家	隣の家	その他	建方					数				
							一階	二階	三階	四五階	塔	洋館	一軒	二軒	三軒	多軒
男	88	6	3	15	16	6	68	37	1	0.4	0.1	3	65	20	7	4
女	87	8	3	15	9	1	68	39	0.4	0.1	0.1	2	75	21	6	3

は第三表にみます様に自分の家が絶対多数であります。これは畫を描かせる時の指示にも依りますが、さう言ふ指示にも拘らず自分以外の家も非常に多く描かれてゐるのは、幼児は單に先生の指示に拘泥することなく、畫を描く事そのものゝ中に自分の生活を楽しんで居ります。

2、家の種類に關しまして事がわかります。自分の家と他の家とを一緒に描いた場合自分の家が特に大きく描かれるものは年少に多い傾向があります。が、年長でも自分の家特に大きく描かれるものが多いのは幼児では自己中心性の勝つてゐる事に依るものであります。事件を現はさうとする事は年長になる程多くなりません。以下次第に細部に互つて全體的に統計したところの結果について申します。

第四表 家の附屬物(%)

男 兒	窓	瓦	入口	門	煙突	扉	煙	格子	梯子	看板	玄関	戸	庭	物干	壁	硝子戸	石段	其他		
																		一室項	二室項	
	34	28	20	15	14	11	10	9	8	7	5	5	4	4	4	3	3	3		
女 兒	瓦	窓	入口	門	煙突	扉	煙	格子	庭	玄関	戸	ガラス戸	看板	梯子	入口の道	植木	壁	石段	其他	
	28	25	17	15	11	9	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	3	3		

3、家の形に關しましては随分色々な現はし方がありまして、其の心の起くまゝに描く事の多いところが察せられるのであります。

4、次に家の附屬物、即ち家屋の構成そのものについた部分の表はれについて整理したもののは第四表の通りであります。

此の表に現はさ

第五表 家具(%)

性別	家具(%)											その他 二三項	その他 三〇項	
	電燈	コード	電燈の傘	旗竿	旗	火鉢	植木鉢	タンス	机	商品	陳列棚			障子
男	31	22	21	10	7	6	6	5	4	4	4	3	2	2
女	42	34	33	15	14	10	10	6	6	6	4	4	4	3

れてゐる頻数の順位は同時に幼児の興味の大さの順を示すと思ひますが、こゝに表はれた順はそれを示すものとして大變興味あるものご存じます。

これに依りますと先づ男女略々興味の間が一定してゐる言ふ事がわかります。男児は女兒に比し平常の自由畫では家を描く者が非常に少ないにも拘らず描かせる

に女兒と同等に注意をもつて觀察して居り且つ其の細部項目に到りましては女兒よりも遙かに多いのは興味ある事であります。

5、次に家屋の構成に屬しないもの即ち家具の如きものについて其の描かれた項目を統計しましたのが第五表であります。

これに就ても前の第四表同様其の頻数順が幼児の興味の大さ

第六表 人物(%)

性別	項目	種類											數			
		自分	父母	兄弟	他の家族	友人	親類の人	祖母	子供	客	其の他	一	二	三	多	
男		13	6	5	12	2	6	1	0.4	0.3	2	12	13	7	4	6
女		25	8	12	20	6	12	3	0.3	4	0	7	24	13	7	7

さを表はしてゐるご解釋する事が出来ると思ひます、これに依りますと男女共電燈が如何に幼児の注意を惹いてゐるかご分りますと共に、男女の差異をしましては旗が女兒よりも男児の方からより多く注意を注がれ、植木鉢、タンス等は男児よりも女兒の方から多くの注意を注がれて居る事がわかります。

尙此家具については項目數は男女略々同數でありました。

6、次に『家の畫』の中に現はされてゐる人物について調査しましたところ、其の結果は第六表の通りであります。

これに依つてみますと矢張り描かれたものでは自分が一番多く、幼兒の自己中心性が窺はれ次に兄弟、それから父母、友人になつて居ります。數に於ては一

第七表 家に屬しない事物及風景(%)

男 兒	道路	空 陽	大 陽	飛 行 機	木 柱	電 柱	花	雲	月	電 線	自 動 車	山	鳥	草	動 物	雪	其 の 他 項
		36	30	19	12	8	8	8	8	7	6	5	4	3	3	2	2
女 兒	空 路	道 路	大 陽	花	木	月	雲	電 柱	草	山	雪	自 動 車	鳥	星	果 物	動 物	其 の 他 項
		39	37	26	18	10	8	6	4	3	3	2	2	2	2	1	1

第七表でありま
す。
これに依つてみま
す。幼兒は一度畫
を描き出すと始め
の問題は離れて
如何に自由に且つ
楽しんで描くもの
であるかと言ふ事
がわかります。
此の頻數の順位は
大體通常自由畫に
於ける題材の順位
とよく似た所があ
りました家を中心

7、次に家に屬しない事物及び風景、即ち此の度の畫の主
要問題とは離れた項目に關して、その描かれたものを統
計しましたものが
合が最も多數であります。此の表で明かなのは女兒は男
兒の殆ど二倍の頻數に於て人物を澤山描いて居るこゝで
あります。其の理由については更に考へてみたいと思ひま
す。

第八表 家の職業の表現

性 別	項 目	家 な 職 業 の 表	に き な い 職 業 の 表	職 業 の 表	家 が に あ る 職 業 の 表	職 業 の 表	計
		幼	男	4	0	10	3(41)%
女	5	0	7	4(30)%	16		
長	男	22	0	27	19(23)%	68	
	女	19	0	21	9(36)%	49	

8、次に事件につきましては表はれ方は斷片的なのが多く
て纏つたものが少なく、それを記録するにも困難を感じ
ましたので、今回は其の整理を省略しました。
事件の描いたものゝ百分比は大體第二表に表はれてゐる
通りであります。

9、次に最初に申
しました様に此
の研究では幼兒
が各々の家庭の
影響をどんな風
に表はすかと言
ふのをみる事を
目的としたので
ありました。然
しこれについて
は特に個人々々
の特別な表はれ
がなかつたので
ありますが其の
表現の一つとし

て考へ得るのは各家庭の職業の影響が此『家の畫』に可成り面白く出てゐたことであります。

これは特に種々雑多な商業家庭を多く持つてゐる神戸幼稚園のみについて研究してみましたのに其の結果は第八表の様でありました。

其の家庭が店舗でない家の幼児は全部職業的表現を示さず、その家庭が何かの職業を営む場所である家の幼児は第八表に示されてゐる様な百分比で其の職業を表現して居るのであります。

四、總括

以上を總括致しますのに

一、幼児の『家の畫』に於ては、個別的に各家庭の影響が表現されるよりも、寧ろ幼児一般の持つ家言ふものゝ觀念が殆んど共通的な表現に於て現はされるこゝがわかります。

二、家そのものゝ表現はこれを年齢的にみまますと單なる家屋から出發して家屋の内部、外部、及び多くの家の並びといふ様に次第に内容が増して發達して行く事がわかります。

三、描畫に對する幼児の氣持は『家の畫』に對しても自由畫に於けると同様に自由に楽しく描く事がわかります。

四、家の種類、家の附屬物、家具、人物、家に屬しない事

物及び風景等につきまして、先に表について申上げました様な有様で、幼児の興味のあるところがわかるのであります。

(一〇頁より)

ぜかうも可愛いものか、可愛い蕾の春の花園に這入つたと同じで、天國に遊ぶ思ひがする。罪なき幼児は神の子である、感化は却つて幼児から受ける、浸みこみ幼児の尊さに打たれる、私は幼稚園が大すぎです。當園創設準備について檜山京子先生に御骨折頂いたことを思ひ起し茲に本紙上を拜借して御禮を申し上げます。